

Ryukoku

親和会だより

118号
2020.3



CONTENTS

2019年度親和会海外研修奨学金(春期)・学生活動奨励金授与式	03
受賞者コメント	04
2019年度親和会海外研修奨学生一覧	05
2019年度親和会学生活動奨励金授与団体一覧	
大学懇談会 講演録	06
グローバル・キャリア・チャレンジプログラムの取り組み	08
インターンシップ体験記	10
就職活動体験記	12
Information	14
Schedule 2020年4月～9月	15
保護者相談窓口のご案内	

表紙写真: 第54回龍谷能

我が部は1907年に「能楽部」として活動をスタートし、2017年に創部110周年を迎えました。普段の活動では、「仕舞」という能の一曲中の見どころを切りとった舞を練習しています。1913年からは、年に一度活動の集大成として龍谷能を執り行っております。表紙は、2017年の第54回龍谷能での写真です。

龍谷能の開催にあたって、大学、親和会、校友会から援助金をいただきました。

ご支援ありがとうございました。

2019年度親和会海外研修奨学金(春期)・学生活動奨励金授与式

2020年1月20日(月)、ANAクラウンプラザホテル京都において、2019年度親和会海外研修奨学金(春期)、学生活動奨励金の授与式を開催しました。



海外研修奨学金は、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成に資することを目的として設けられています。募集は、第1学期(夏期)と第2学期(春期)の年2回実施され、書類審査、面接審査を経て決定します。第1学期には8名が奨学金を受け、夏期休暇中に海外での研修に取り組みました。今回、第2学期では4名が春期休暇中に海外へ赴きます。

学生活動奨励金は、学生の主体的かつ積極的な活動を推奨することを目的として設けられています。2019年度は、最優秀賞3団体、優秀賞1団体、特別賞9団体の合計13団体が選ばれました。

今期の対象者(個人・団体)は、5ページに掲載していますので、ご覧ください。

授与式では、福本宰之学生部長より選考結果とともに、各奨学生の研修内容、各団体の成績等の発表をいただきました。海外研修奨学生を代表して国際学部吉崎綾花さんと、学生活動奨励団体を代表してバドミントン部の川原聡磨さんから喜びの声、これからの意気込みなど力強い挨拶がありました。また、岡玲親和会長から学生達へ激励の言葉を贈りました。

受賞者コメント

海外研修奨学生



農学部食品栄養学科

はやし ひなこ

林田 日菜子 さん

海外研修先 台湾

研修の目的・抱負

親和会海外奨学金で、2019年の夏休みに台湾で調査を行いました。食文化の「共存・発展・伝統の継承」をテーマに、台北と台南を訪問しました。青空市場や夜市、日本家庭料理教室、レストランなどを訪問し、現地の方々にも取材をさせていただきました。食が生み出す人の繋がりと伝統の継承を学び、現代における食の役割を考える機会となりました。親和会の奨学金を通してこのような充実した調査ができたことを心より感謝申し上げます。



国際学部グローバルスタディーズ学科

よしざき あやか

吉崎 綾花 さん

海外研修先 シンガポール

研修の目的・抱負

2019年度の春休みを利用して、シンガポールにおけるコスモポリタニズムと多文化主義の諸相を調査します。「シンガポール人」というアイデンティティを持ちながら、それぞれの文化コミュニティの存続を可能にしているシンガポールは、「多民族国家」のモデルであると考えています。調査では、国立博物館や宗教寺院の見学に加えて、各民族のヘリテージセンターなども訪れ、インタビューの実施を予定しています。実際に現地を訪れることができるこの機会に感謝して、しっかりがんばります。

学生活動奨励金受賞団体



最優秀賞 学友会体育局バドミントン部

関西学生バドミントン春季・秋季リーグ戦 優勝

西日本学生バドミントン選手権大会団体戦 優勝

全日本学生バドミントン選手権大会 女子ダブルス優勝

バドミントン部は、現在男女合わせて49人で活動しています。今年度は、関西春季・秋季リーグ戦、西日本大会で男女共に優勝し、連覇することができました。また、全日本大会では、団体戦は台風の影響のため中止となりましたが、女子ダブルスで優勝することができました。来年度は、目標である「全国優勝」を成し遂げることができるようにチーム一丸となつてがんばります。



特別賞 一般同好会 競技かるた同好会あ・ら・か・る・た

【団体戦】全日本かるた大学選手権 予選リーグ第2位

【個人戦】全国競技かるた北国大会 D級 優勝

全国競技かるた京都大会 D級 優勝

近年は「ちはやふる」(漫画・アニメ・映画)による競技かるたブームが到来し、競技人口の拡大に伴って、大会での入賞も難しくなってきました。そんな中、各県で行われる全国競技かるた大会においては、部員一人一人が成果を挙げ、昇段・昇級を果たす事ができました。来年度も引き続き、日々の練習を大切に、個人戦・団体戦共に、今年度よりも良い成果を挙げられるよう、同好会一丸となつてがんばりたいと思います。

2019年度 親和会海外研修奨学生一覧

■2019年夏期 ※授与式は2019年7月25日(木) 紫雲館2階理事会議室にて執り行いました。

学部・研究科	名前	コース	研修地	研修テーマ	研修期間
経営学部	福角 奈偉樹	研究	ドイツ	日本とドイツにおける働き方と価値観	8/6～8/14
政策学部	岡田 駿人	研究	ドイツ	街並みと景観の保存について	8/20～9/5
政策学部	遅 嘉懿	研究	シンガポール	シンガポール民族融合社会における異文化理解と多文化共生政策の発展～日本社会（京都を例）の異文化理解と多文化共生政策のあり方の研究	8/14～8/21
国際学部	菊川 弥夢	研究	アメリカ	アメリカ社会に苦しむ貧困の子どもたちを救うために教育達成における問題点とは何か	8/30～9/25
国際学部	田中 早穂	研究	ドイツ フランス	コロナリズム期におけるミュージアムコレクションの形成と文化財返還要求	8/6～8/14
農学部	本岡 涼	研究	ポルトガル	日本とポルトガルを比較して見るメンタルケアの在り方の違い、農からできる心へのアプローチについて	8/13～8/31
農学部	林田 日菜子	自己研鑽	台湾	食文化の「共存・発展・伝統の継承」	8/31～9/5
政策学研究科	原田 麻也子	研究	ベルギー	ブリュッセルでのテラス席設置に対する意識調査	9/4～9/20

■2020年春期 ※授与式は2020年1月20日(月)ANAクラウンプラザホテル京都にて執り行いました。

学部・研究科	名前	コース	研修地	研修テーマ	研修期間
文学部	畠山 拓己	自己研鑽	韓国	歴史的背景から見る現在の日韓関係	2/5～2/10
国際学部	木村 瑠奈	研究	イタリア	イタリアにおけるユダヤ教徒のアイデンティティの確立と現在	3/8～3/22
国際学部	吉崎 綾花	研究	シンガポール	シンガポールにおけるコスモポリタニズムと多文化主義の諸相	2/5～2/13
文学研究科	張 凱	研究	台湾	媽祖信仰と仏教の関連性	3/15～3/27

2019年度 親和会学生生活動奨励金授与団体一覧

※授与式は2020年1月20日(月)ANAクラウンプラザホテル京都にて執り行いました。

賞	サークル名	主な成績
最優秀賞	バドミントン部	全日本学生バドミントン選手権大会女子ダブルス優勝、西日本学生バドミントン選手権大会団体戦男子・女子優勝、関西学生バドミントンリーグ春季/秋季リーグ戦男子・女子優勝
最優秀賞	日本拳法部	全日本学生拳法選手権大会男子の部優勝(16年ぶり)、西日本学生拳法選手権大会男子の部優勝(3連覇)、全国大学選抜選手権大会男子の部準優勝
最優秀賞	吹奏楽部	全日本アンサンブルコンテスト大学の部関西支部代表クラリネット4重奏金賞、全日本吹奏楽コンクール大学の部関西支部代表金賞
優秀賞	端艇部	全日本大学選手権大会女子シングルスカル第3位ほか、全日本選手権大会女子舵手なしペア第7位、全日本新人選手権大会女子シングルスカル優勝ほか、朝日レガッター一般男子舵手つきフォア優勝
特別賞	剣道部	全日本仏教系大学剣道大会男子団体3位・女子団体優勝
特別賞	男子バスケットボール部	関西学生バスケットボールリーグ戦第3位/1部リーグ昇格(17年ぶり)
特別賞	相撲部	西日本学生相撲個人体重別選手権大会75キロ未満級第3位
特別賞	競技かるた同好会 あ・ら・か・る・た	全日本大学かるた選手権予選リーグ第2位、奥の細道むすびの地全国競技かるた大垣大会D6級第3位、全国競技かるた北国大会D1級優勝・D2級第3位、全国競技かるた桑名大会D7級第3位、全国競技かるた京都大会D9級優勝
特別賞	龍谷クリケットクラブ	全日本学生クリケット新人選手権男子優勝、関西学生選手権関西リーグ戦優勝、全国リーグ戦3位
特別賞	自転車部	西日本学生対抗選手権自転車競技大会総合成績8位・種目ケイリン第4位1名
特別賞	スポーツチャンバラサークル 龍刃会	全日本学生選手権大会新人男子小太刀優勝1名・新人男子二刀優勝1名・新人女子権長剣準優勝1名・有級男子長剣両手準優勝1名ほか、近畿学生大会新人男子団体戦優勝・有段有級女子団体戦3位ほか、関西学生スポーツチャンバラ選手権大会新人男子団体準優勝ほか、全日本選手権大会小太刀1～2級の部優勝1名・長剣両手初級以上準優勝1名、世界選手権大会初段以上長剣両手準優勝1名ほか
特別賞	準硬式野球部	清瀬杯全日本大学選抜準硬式野球選手権大会出場
特別賞	フェンシング部	関西学生フェンシング選手権大会男子エペ4位、全日本学生フェンシング選手権大会男子エペ6位、全日本フェンシング選手権大会出場

ころんだら、起きればよい。失敗しても成功するまでやればよい。 — アシックスが求める人財像 —



講師

小林 淳二

アシックスジャパン株式会社 代表取締役社長
龍谷大学経済学部1990年卒業

「ころんだら、起きればよい。失敗しても成功するまでやればよい。」というのは、創業者の言葉であります。創業者のエピソードなど紹介しながらアシックスの求める人財像と私からのメッセージなどをお話させていただきます。と思っています。

私は、1968(昭和43)年生まれの51歳です。京都生まれ、京都育ち、地元の中、高校を卒業し1986年に龍谷大学経済学部に入塾して、男子バレーボール部に所属しておりました。このバレーボールというスポーツが、アシックスに就職した大きな要素になっています。

株式会社アシックスは、スポーツメーカーですが、施設管理や安全靴、「Onitsuka Tiger」というファッションブランドなど幅広い事業を展開しています。1949年創業、現在は、国内10社、海外48社を展開し、売上の70パーセントが海外売上となっております。海外展開が進んだ理由に、創業者の鬼塚喜八郎が、早くからオリンピックの視察などで海外へ出ていったということがあります。1969年にアメリカでの販売を始めましたが、当時、アシックス商品を販売していたのは、ナイキの前身のブルーリボン(スポーツ)という会社でした。ナイキは今では業界1位の会社ですので、創業者は先見の明があったのだと思います。

創業当時、戦争から戻った鬼塚が見た神戸は、街も、青少年も荒廃していました。それで、スポーツを通して、健全な青少年の育成をしようと、スポーツシューズを作り始めました。なぜスポーツかといいますと、アシックススピリッツと呼ぶ、全社員に受け継がれている6条があります。第1条スポーツマンはルールを守る。第2条スポーツマンはフェアプレーの精神に徹する。第3条ス

ポーツマンは絶えずベストを尽くす。第4条スポーツマンはチームの勝利のために闘う。第5条スポーツマンは能力を高めるために常に鍛錬する。第6条スポーツマンは「ころんだら、起きればよい。失敗しても成功するまでやればよい。」。こういったスポーツマンシップは、青少年の育成に非常に良いのではないかと思います。「アシックス」という社名の由来も、古代ローマの作家ユベナリスの「もし神に祈るならば、健全な身体は健全な精神にあれかし、と祈るべきだ」という名句にあります。ラテン語でいうと「Anima Sana in Corpore Sano」というのですが、その頭文字A・S・I・C・Sをとって、社名になっております。創業者の思いや創業の哲学が込められている社名です。なぜ、創業理念や創業哲学にこだわるのかといいますと、会社の事業運営の柱になるのは、経営理念、創業哲学だと思いますので、自分が入る会社が自分の目指していることとマッチしているということは、非常に大事なことでと思っています。来々年オリンピック・パラリンピック大会が東京で開催されますが、アシックスは、この大会のゴールドパートナーとして参画します。これも、スポーツを通じて、健全な社会・青少年を育成したいという、もともとの理念があったからです。

鬼塚は、1949年に鬼塚商会を起こしましたが、「最初に高いハードルを越えられれば、その後のハードルをどんどん越えられる」という考えから、当時最も難しいといわれていたバスケットボールシューズを最初に手掛けました。ところが、連日深夜まで作業をしてシューズを完成させたのですが、ある高校の監督に届けると、「草鞋のようだ。」と床にたたきつけられてしまいました。その後、練習場で球拾いをし、選手のニーズをくみ取り、改良に

改良を重ねて、ようやく品質に自信のもてるシューズを完成させました。正しく、「そろんだら、起きればよい。失敗しても成功するまでやればよい。」を体現していたということです。その後は頂上作戦という、いわゆるその競技のトップ選手を獲得して、その選手に認められる、あるいは一緒にものづくりをすることで、広めようというようなアクションをしています。

アシックスの求める人材像について、1つめは、アシックススピリッツに共感できる人。創業理念や創業哲学に共感できる人です。2つめは、アシックスのグローバル事業をリードできる人です。特に重要なのは1つめです。アシックススピリッツ(6条)に共感できる人。自分の目標をもって、それに向かって努力して、成し遂げられる人。このPDCA(Plan・Do・Check・Action)、どんな計画をして、どんな行動をして、何がだめだったのか振り返ってアクションできる人、こういった人を求めています。

就職は、長ければ40年以上その会社で働くことになります。一生を決めるといってもいい就職活動については、もっと考えて、もっと活動をしてほしいと思っています。それは、業界・企業研究ということですが、もっといろいろなことを考え、考え抜いてほしいのです。また、これまで生きてきた20数年間を振り返る、いいきっかけであると思っています。親御さんから、良い関わり方のもとでお子さまの背中を押してあげてほしいと思います。

先日、バレーボールのとある監督さんと食事をする機会があり、話の中で、「自分が成長する環境に自ら行ける人は本当に幸せであるが、そこに行くためには努力しなければいけない」とおっしゃっていました。彼は北陸出身で、関東の大学に進学されたのですが、そこで日頃の努力が開花し、大学在学中に、全日本の中心選手になりました。「関東のその大学という環境がなかったら、バレーボール選手として成功していなかった。」とおっしゃっていました。現在、全日本の中でも、高校からすぐに実業団に行く選手、大学を経て実業団に行く選手、あるいは海外に出ていく選手、いろいろな道がありますが、彼らは、一番成長できる自分の居場所を積極的に探しに行っているのです。これは就職も同じだと思います。本当に限られた一年、二年だと思いますが、自分は何をやりたいか、どこに行けば実力を発揮できるのか、成長できるのかということを考え抜くタイミングだと思います。

私からのメッセージは3つあります。まず、学生には、

多様なことを経験していただきたいということです。それができるのが、大学時代です。旅行でも、アルバイトでも、勉強でも、遊ぶことでも、クラブ活動でも、何でもいいのですが、多様な経験をすることが、確実に今後の人生、あるいは就職活動の中でいろいろな引出しになります。私は今、代表取締役社長という立場におりますけれども、指名された当時の社長(現会長)から、「お前のこれまでの経験を買った。」と言われました。確かに、嫌な思いや、くじけそうになることもありましたが、そういった経験はプラスになって、経験値の幅が、自分の強みだと思っています。2つめは、自身の価値を高める行動をしてほしいということです。会社の価値は株価や業績、あるいは社員に支払われる報酬、株主にいくら還元するかというところに現れます。大学も、学生の就職先や、この大学で学んだことが様々なところで見聞されていることが、大学の価値につながっていくと思います。箱根駅伝の出場校であることや、オリンピック選手を輩出したなども価値の高め方のひとつだと思います。個人も同じです。3つめは、自身の個性、強みを認識することです。いろいろな経験の蓄積により高まった自分の価値、これが自分の強みののだというものを持つことは、非常に大事です。私も、よく面接をしますが、「自分の強みは何ですか」と必ず聞くのですが、わりと準備されている答えが出てきます。ものすごく自信があり、経験があり、自分を高める努力をしていて、これが強みと言えるアクションをしている人は、「私の強みはこれです。なぜなら、こういう活動をして、こういう成功事例もあります。それを会社で生かしたい。」ということを堂々と言います。やはり、そこを明確に言えるような活動を、学生時代にしてほしいと思います。でも、自分の強みや良さは、自分ではわかりにくいこともありますので、保護者の方々が、育ててこられた中で、「あなたの強みはこれですよ。」と、「あなたの良いところは、ここではないか。」とアドバイスしてあげてほしいと思っています。今後の就職活動にも、本人にとっても自信にもなると思います。

最後になりますけれども、保護者の皆さんも「そろんだら、起きればよい。失敗しても成功するまでやればよい。」この精神で、お子様のチャレンジを応援、サポートしてあげてください。私も龍谷大学の卒業生として、少しでも学生のお役に立ちたいと思っています。それでは、長い時間、ありがとうございました。

グローバル・キャリア・チャレンジプログラム(GCCP)の取り組み

龍谷大学では2017年度から「グローバル・キャリア・チャレンジプログラム(GCCP)」を実施しています。グローバルな企業や国際機関で活躍したいと考えている学部1～2年生を対象として、将来を見据えた主体的な姿勢と意欲を喚起することを目的としています。

■グローバル・キャリア・チャレンジプログラム(GCCP)とは

プログラムは5月から7月にかけて全9回の授業(正課外)として実施されます。参加学生はチームごとに分かれて、キャリア講師の指導の下、与えられた課題をどう解決するか、議論や調査などに取り組みながら練り上げていきます。締めくくりの成果発表会で優秀チームに選ばれ、海外インターンシップへの参加権と費用の一部補助(1人あたり上限12万円)が与えられます。



▲ 成果発表会の様子

■企業との連携

本プログラムは企業のご協力に支えられています。授業参加や企業見学、成果発表会の採点と講評において、2019年度は京セラ(株)、小林製薬(株)、(株)JTB、日本航空(株)、富士ゼロックス(株)、(株)ホテル日航大阪の方々にご協力いただきました。

成果発表会では「低年次ながら発表のレベルが非常に高かった」「学生の成長に驚かされる」というコメントをいただいています。参加学生は実際にグローバルに活躍する企業人の講義やアドバイスを受けて、グローバルに活躍できる将来像を具体化できたことと思います。

また、海外インターンシップでは、2018年度は

株式会社伊國屋書店シンガポール店、タテホ化学工業(株)米国子会社(TATEHO OZARK Technical Ceramics, Inc.)、ホテル日航バンコク、ナンヤン・ポリテクニク(シンガポールの高等教育機関)に受け入れていただきました。参加した学生からは「貴重な体験」「将来へ結びつく能力が伸びた」と高評価でした。



▲ 京セラ(株)へ企業訪問



▲ 小林製薬(株)への企業訪問での研修

■親和会助成プログラム

本プログラム参加学生にはTOEIC®IPの受験を課していますが、親和会からの助成により、学生負担なしで運営しています。そのため、参加学生は現在の自らの語学力を知ったうえで、将来のキャリアに向けた学びの必要性を自覚することができます。

■参加学生インタビュー

2017年度に本プログラムに参加した中川優平さん（経営学部3年生）にインタビューしました。

Q グローバル・キャリア・チャレンジプログラム（GCCP）に参加していかがでしたか。

入学して間もなく参加したのですが、GCCPにおける活動は大学での学びとして新鮮でした。高校のような「講義型の学習」ではなく「チーム活動による学習」だったので、自分の考えや意見を自己完結させずにチーム間で分かちあう必要があります。考え方や価値観、個性が異なるメンバーや、母国語の異なる外国人留学生もいる中で、お互いの意見を傾聴し、尊重しあって意見をまとめるという体験は高校時代には得られなかったものとして大きな財産になっています。

Q 将来を考えるきっかけになりましたか。

とても良いきっかけになりました。グローバルに展開する企業の方のお話を聞いたり、実際に会社を見学するなかで、自分の中での企業へのイメージががらりと変わったためです。利潤追求だけでなく、事業を通じて社会全体を豊かに幸せにするという利他的な考えが私にとって新鮮であり、感銘を受けたものだったのです。GCCPの経験から「自分の知らない価値観・世界についてもっと学びたい」と考えたため、GCCPの後で、大学生になって初めての夏休みには、企業インターンシップに参加しました。その後も、民間企業のシンガポールでのインターンシップや、龍谷大学の「東京チャレンジインターンシップ」にも参加し、様々なことを経験させていただきました。



▲中川 優平さん（経営学部3年生）

Q TOEIC® IP受験はいかがでしたか。

自分のなかで、受験した意味がありました。というのは、TOEIC®IPはビジネスにおける様々な場面を想定した問題形式であるためです。そのため、英語を使って働くという実際の自分の姿を具体的にイメージ出来ました。その後、龍谷大学のランゲージ・スタディ・エリア（グローバルコモンズ内）を無料で活用できるので、そこを使用し、語学力の向上に努めました。

Q 後輩の学生に伝えたいことはありますか。

2つあります。1つは、積極的に活動し、外の世界に触れることの大切さです。世の中のダイナミックな動きやエネルギーを肌で感じると、自身のものの考え方や価値観はおのずと広がり、そして、深まると思います。もう1つは、教養や学問の重要性です。世の中でよりよく生き、貢献するためにはまず世の中のしくみをとらえる必要があります。そのためには大学での勉強に一所懸命に取り組んで教養を得たり、政治や経済、歴史、芸術や自然に関する学びといった教養にも触れて、学ぶことが絶対に必要だと思います。この2つはどちらもGCCPから教わりました。

■ インターンシップ体験記

職業現場を体験して、自分の将来を見極めるインターンシップ。実際に参加した学生の声です。

社会学部 コミュニティマネジメント学科 2年生

かい い みずほ
改井 瑞穂 さん

インターンシップ先 花王株式会社
出身 高校 尼崎市立尼崎高等学校



インターンシップに取り組もうと思った動機は何ですか

大学に入学して1年間は、アルバイトのためのカリキュラムや比較的単位の取りやすい授業選択をしていました。何のために大学へ来たのだらうと思うことが多くありました。また将来に対する漠然とした不安もありました。そんな時、1・2年生向けの就職活動で

はない自分を高めるためのインターンシップが、東京の大手企業で長期間行われるというキャリアセンターからのお知らせを見て、「今の自分を変えられるチャンスだ」と思いエントリーしました。

インターンシップを振り返って感じたことや実践してよかったことは何ですか

インターンシップが終わって、明らかに以前と変化したことは、学ぶ姿勢です。今回の実習で、世の中のあらゆる事柄が連鎖して社会が成り立っているということをあらためて実感しました。そのため、大学

での勉強も様々なつながりを得て、社会に出た際の自分の力になるのだと視野が広がり、一つ一つの授業に取り組む姿勢や社会の変化に敏感になりました。

インターンシップに取り組む際の注意点など後輩へのメッセージをお願いします

大学生活で一番の失敗となるのは、挑戦しないことだと思います。行動を起こさない限り、成功への前進はありません。見たり聞いたりすることも大切ですが、一番重要な事は試すことです。1・2年生だからこそできる、成長するためのインターンシップがありま

す。龍谷大学は学生に多くの情報を発信しています。「アルバイトがある」とか、「時間がないから」ではなく、自分の大学生活を有意義にするきっかけの一つにしてみてください。

親和会では、2019年度から「キャリア形成補助金—自己応募型インターンシップ補助金—」に対し、助成を行っています。本制度は①自己応募型インターンシップへの参加又は②U・Iターン活動への参加に対し、上限として1人あたり50,000円（交通費と宿泊費の合計額の上限）を補助するものです。2020年度以降も継続して助成する予定ですので、ぜひご活用ください。利用条件や利用手順など、2020年度の利用方法については、キャリアセンター／インターンシップ支援オフィスへお問い合わせください。

文学部 仏教学科 3年生

うえすぎ ゆうや
上杉 裕也 さん

インターンシップ先 小泉産業株式会社
出身 高校 大阪府立吹田東高等学校



インターンシップに取り組もうと思った動機は何ですか

会社という組織の成り立ちや社員の方はどういうモチベーションを持って働いているかを知りたいと思ったからです。そして自分が考える「働く」というイメージと、実際に社員の方が働いている姿を見比べ、その違いがどういうものかを理解したうえで就職活動に活かしたい

と思いました。仕事に必要な資格・スキル・ビジネスマナーはネットで調べれば分かるのですが、社員の方がどのような思いで働いているかまでをネットだけで知るのは困難です。このインターンシップを通して、実際の現場を少しでも多く知ることが重要であると考えました。

インターンシップを振り返って感じたことや実践してよかったことは何ですか

「何事も実際にやってみないとわからない」ことを発見できたことです。小泉産業株式会社ではBtoBメーカーの営業、物流、商品開発、広報の仕事を経験させていただきました。いろいろな部署の方と出会い、それぞれの仕事のやりがい、面白い

点および苦労した点を教えていただきました。同じ部署の中の仕事といっても日々課題があり、それに真摯に取り組む姿が印象的でした。また、自分に足りていないと思うことにも気づき、今後の課題を見つけることができました。

インターンシップに取り組む際の注意点など後輩へのメッセージをお願いします

インターンシップで何を学び取りたいかを考えておくことです。それをもとにしてインターンシップ先を選ぶとより主体的に取り組めて良いと思います。私は様々な部署を見てみたいという考えから小泉産業株式会社を選びました。もちろん最初は慣れない状態

からの体験でしたが、10日間という長い時間をかけた体験でじっくり話を聞くことができました。何を学びたいかを考えておくことで、学生と企業がお互いに実り多いインターンシップにすることができるのではないかと思います。

龍谷大学で実施するインターンシップは、社会現場での実体験を通して、大学における学びの意義を認識し、学生の自立とキャリア形成を支援する実践的な教育プログラムとして位置づけ全学的な取り組みとして展開しています。

■ 就職活動体験記

経営学部 経営学科 4年生

すぎもと こうすけ
杉本 公佑 さん

内 定 先 楽天株式会社
出 身 高 校 奈良県立橿原高校



就職活動を振り返って感じたことや実践して良かったことは何ですか

就職活動で特に意識していたことは、行動する際に視野を狭めないことです。就職活動を始める前から業種や業界を絞りこんでしまうのではなく、「とりあえずやってみる」ということです。様々

な企業で時間を頂いてお話を聴かせて貰えるのは、就活生だからこその特権だと思ったので、とにかく自らの基準で可能性を失くさないよう挑戦しました。

その企業に決めた理由は何ですか

「イノベーションを通じて、人々と社会をエンパワーメントする」という企業ミッションへの共感と、そのミッションに対して、常に世界が驚くような挑戦を楽天株式会社は続けているので、他社よりも圧倒的に成長スピードが速く、やりがいがあると考えたからで

す。また、働く従業員に対しての福利厚生が充実していることや、グローバル化に対応しようと社内公用語を英語化としていること、説明会や選考を通してお話しさせていただいた社員の方々の考え方なども決め手となりました。

就職活動に際し、印象に残る親からのサポートや言葉などがありましたら、教えてください

父が経営者ということもあり、面接では「継がないの？」とよく聞かれましたが、父からは、何かを強制されることもなければ、目立ったアドバイスもありませんでした。しかし、毎回、面接の前日

などには「大丈夫、なんとかなる」と言ってもらい、その言葉が自信に繋がり、就職活動を楽しむことができたと感謝しています。

これから就職活動に臨む後輩へメッセージをお願いします

私は、就職活動を経験できて本当に良かったと思っています。不安なことも苦しいことも何度もありました。しかし、それ以上に日々新しい知識や経験を積むことができたので、自分の成長を感じ楽しむことができました。これからの就職活動に不安を感

じている方も多いと思いますが、辛い時は周りの友達や家族、大学にたくさん相談してください。そして、1つの結果に一喜一憂せず、自分の可能性を信じて、成長を楽しんでほしいと思います。

農学部 食品栄養学科 4年生

こんどう みゆき
近藤 美由紀 さん

内 定 先 株式会社ツムラ
出 身 高 校 滋賀県立八幡高等学校



就職活動を振り返って感じたことや実践して良かったことは何ですか

「人は人、自分は自分」就職活動において私が最も大切にしていた言葉です。実際、周りが何十という会社を受ける中、私は数社に的を絞り、そこに全力を尽くしていました。今思えば、本気で入社したいという必

死さや想いが会社にも届き、良い方向に動いていったと思います。また、どの面接の直前でも必ずカラオケに行き、大声を出して気合いを入れていたことも、今となっては良い思い出です。

その企業に決めた理由は何ですか

人々の健康に貢献出来る仕事がしたいという考えを持っていたところ、学内セミナーにて「株式会社ツムラ」に出会いました。生薬の組み合わせ方で、多角的に病気や症状にアプローチできる漢方医学の必要性を感じると共に興味を抱きました。この側面から人々の健康を支えていくことは、シェア率80%以上

を占めるこの会社にはしかできないと感じたためです。また自ら足を運び医師と近い距離で患者様に携わることの出来るMR(医薬情報担当者)に魅力を感じたこと、そこで働く自分の姿をイメージしてわくわくしたことも決め手でした。

就職活動に際し、印象に残る親からのサポートや言葉などがありましたら教えてください

基本的に深く干渉せず、家を出る前に「いってらっしゃい。がんばってこい!」とだけ言ってくれる親ですが、選択肢を決めないで自由にさせてくれる、それが私に合っていて良かったのだと思います。「私なら何でも乗

り越えられる」と信じてくれていたことも知っています。良い報告ができた時は、毎回、とても褒めて喜んでくれて、嬉しかったです。ありがとう。

これから就職活動に臨む後輩へメッセージをお願いします

就職活動のかたちは人それぞれで、正解も不正解もないと思います。受ける会社も受ける人自身も、一人として同じ人はいないからです。私は何事も短期集中型で、就職活動中もがんばらない日には、友達と飲みに行くこともあり、遊びにも行きました。今は不安だらけで、

うまくいかないことも多々あるかと思いますが、「人は人、自分は自分」です。自分のペースで自分に一番合った方法で、何より自分を信じて突き進んでください。そしてどんな結果になっても悔いの無いようにがんばってください。応援しています!

【重要】国による奨学金 「高等教育の修学支援新制度」 (学費減免+給付型奨学金)が スタート! 申請をお忘れなく!



2020年4月から実施される「高等教育の修学支援新制度」は、学費減免と日本学生支援機構の新たな給付型奨学金がセットになった国による支援制度であり、支援対象は住民税非課税世帯及びそれに準じる世帯とされています。

収入要件、成績要件等厳しい審査基準が設けられ、採用後も成績状況や家計状況による支援の中止がありますが、これまでにない規模の給付型奨学金制度です。

本学でも2019年秋より大学ホームページやポータルサイト、学内掲示板にて周知を行い、11月12月の説明会で800名以上の学生が参加しました。2019年度の予約説明会は終了し、今後は毎年4月に新入生・在对学生に対して新規申請希望者説明会を開催する予定です。

申請をお考えの場合は、まずは下記QRコードを読み込み、シミュレーションのうえ、2020年4月の新規申請希望者説明会に必ず参加いただくよう、お子さまにお伝えください（3月中旬にポータルサイト及びHPにて日程を周知する予定です）。

なお、学費の減免が行われるので、申請された在學生は学費の納入時期が通常と異なります（詳細は新規申請希望者説明会にて行います）。

問合わせ先：学生部 ☎075-645-7889

制度の内容：<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>



■修学支援新制度による学費減免額・給付型奨学金額

区分	2020以降 新入生のみ 入学金免除額	学費 免除額 (年額)	給付奨学金額（年額）		支援総額			
			自宅通学	自宅外通学	新入生 自宅通学	新入生 自宅外通学	2～4年生 自宅通学	2～4年生 自宅外通学
4年制大学					4年制大学			
第一区分	260,000	700,000	459,600	909,600	1,419,600	1,869,600	1,159,600	1,609,600
第二区分	173,400	466,700	307,200	607,200	947,300	1,247,300	773,900	1,073,900
第三区分	86,700	233,400	153,600	303,600	473,700	623,700	387,000	537,000
短期大学部					短期大学部			
第一区分	250,000	620,000	459,600	909,600	1,329,600	1,779,600	1,079,600	1,529,600
第二区分	166,700	413,400	307,200	607,200	887,300	1,187,300	720,600	1,020,600
第三区分	83,400	206,700	153,600	303,600	443,700	593,700	360,300	510,300



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

龍谷大学 親和会事務局

編集：龍谷大学 親和会だより編集委員会

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

Tel: 075-645-7888 Fax: 075-642-8867

Mail: sinwakai@ad.ryukoku.ac.jp

<https://www.ryukoku.ac.jp/link/parents.html>

親和会・親和会だよりに関するご意見、
ご要望などは左記までお寄せください。